

# 3・20渋谷へ!

2011年1月31日  
2

全学連(織田陽介委員長)書記局通信

Tel 050-3036-6464  
mail\_cn001@zengakuren.jp  
http://www.zengakuren.jp/

## 世界は革命情勢だ!

### チュニジア・エジプトに続き

# 菅打倒の大デモを!

エジプトの政権打倒の大デモ(1月25日)

## 【1】1・27第一回実行委員会大成功!

### 織田委員長の提起



#### 【0】本日訴えたいこと 及び検討したいこと

3月20日は、イラク戦争が始まった日です。8年前にイラク戦争が始まって、同時にこのイラク戦争というのは世界の労働者・学生の闘いの日にもなって、3月20日というのは全世界で

デモが爆発的にまきおこるような日にもなっています。この日に、日本で僕たちが何をしていくのか。

#### 【1】3・20を新しい運動の壮大な出発点として全力で成功させたい

最初に、3・20を新しい運動の壮大な出発点として、全力で成功させたいと訴えます。本当に新しい運動を、ここから始めていくんだという意気込みで今日は集まっているんだということをはっきりさせたい。

今回は学生が単独で主催します。去年の10月3日、青年労働者集会があってこれが非常に成功したんです。そして、どんどん今運動が拡大しようとしています。次が3月6日です。青年労働者にはこれに賭けきってもらおうと。運動が前進している中で、学生が責任をとる在り方が生まれてきた。

学生が責任をとるなら、まず学生が本気になり、学生が増える集会、それが軸になる集会をやりたいと考えたということです。具体的にいえば、3・20の獲得目標は、4月からの学生の闘いが300万人を獲得できるものとして始めるということが第一点です。学生が全社会に「今こそ反戦闘争に立ち上がろう」と真正面から訴えて、300万に通用する内容とか言葉とかをこの運動の中でつくり、4月に乗り込むというのが、僕の問題意識です。

#### 【2】改めて11・23砲撃戦の本質と時代背景について

この3・20がどういう状況で闘われようとしているのか。

1 1月23日、朝鮮半島で砲撃戦がありました。これは、アメリカ、日本による侵略戦争だと確認することが、非常に大事です。24日に国会が始まって菅が施政方針演説でこう言っています。「我が国周辺には依然として不確実性、不安定性が存在します」「平和と安定を確かなものにするためには、現実主義を基調にして世界の平和創造に能動的に取り組む、外交安全保障政策の推進が不可欠です」。今世界は平和なんだ。しかし日本の周辺に危ない国があるんだ。つまり北朝鮮とか中国を指しているんですが。平和な社会を乱すやつを積極的に能動的に叩きつぶして、平和を維持するんだと言っている。これに対し日本共産党は、この世界は基本的に平和に向かっている。オバマ政権が核無き世界にむかっているじゃないかと、同じことを言っているわけです。それでいま日本共産党は、領土問題を掲げて中国への排外主義です。中国が領土を侵犯しようとしているっていつている。この世界はあたかも平和なんだというこのイデオロギー。しかも北朝鮮と中国がこれを侵害しようとしているんだ、だから叩きつぶして平和にするべきなんだというイデオロギーとわれわれが真っ向から対決できなければ、戦争と対決することはできないと考えています。

(1) 「11・23砲撃戦」を受けての現実  
実は11月23日以降、1月も一貫して朝鮮半島付近で軍事演習がガンガンやられています。それで北朝鮮が少しでも反撃すれば、ただちに本格的な戦争に突入する体制をとって軍事挑発を強めている。こういう段階に入っている。戦争は始まっているということを言いたいんです。

それで、この戦争が始まったときは、朝鮮半島が戦場になるんです。作戦計画「5027」はシュミレーションしただけで朝鮮半島全体が火の海になって、100万人の死傷者が出ると言われているわけです。こういう戦争が僕らの目の前で始まっていることに腹の底からの怒りをもって、反撃に立ち上がらなきゃいけない。

## (2) 大恐慌、大失業と一体の戦争

二つ目に、大恐慌、大失業と一体の戦争ということです。大恐慌はこれから爆発していきます。「景気が底を打った」なんて大嘘です。G20の去年の上半期の失業者は7000万人です。日本の労働者の3人に1人が非正規といわれていますが、こういう人たちだって半失業状態です。これから街頭に29年恐慌みたいに、失業者が膨大に溢れてくる。日本でも世界でも。解雇と非正規化が最大の恐慌対策としてやられてきたんです。他方で、リーマンショック前の大企業の利益は回復したと。この現実は何なのか。首切り・非正規化で資本は生き延びている。非正規労働者がこれだけいなければ、今頃企業はバタバタ倒れている。

29年恐慌よりも、起きていることは悲惨だ、危機だ。しかも「ニューディール政策」は恐慌を克服することはできなかった。結局今みたいに、金使って消費をのぼして、その金を投入できなくなった瞬間に「ルーズベルト不況」に入っていく。その後アメリカは軍需産業に金をいれて、失業者を戦場に連れて行く、軍需産業に雇う、それで失業率が一気に下がる。結局恐慌を克服できずに、戦争に行った。だけどそれと比べても今の恐慌対策は滅茶苦茶です。つまり、これから恐慌というのはますます深化していくということです。

僕が言いたいことは、新自由主義のこの30年間で、非正規労働者が1000万人だとか1500万人だとか、そういう規模で生み出されました。年収200万円以下が1000万人とか、こういう徹底した非正規化・首切りをやって、それでも恐慌が押さえられなくて爆発し戦争に向かうということは、労働者・学生にずっと戦争のようなことをやってきた資本家がもう一回軍事的な戦争を始めたという状況です。

## (3) 世界体制の盟主・アメリカの崩壊へ 略

## (4) 大恐慌の最大の原因 過剰資本・過剰生産力

四番目に、本質論の話をするれば、世界の需給ギャップは80兆円っていわれています。つまりものを作りすぎて売れない、そのギャップが80兆円。生産する力が大きすぎて、売れないから失業者がバンバンできる。おきていることは、どこの市場に売りさばくのかを巡って、アメリカやドイツや中国や日本がガンガン競争し、つぶし合いをやってくという状況がはじまっています。

## (5) 世界の労働者・農民・学生の闘いを押しつぶすための戦争

朝鮮侵略戦争はこれからどうなっていくのか。中国だとか、朝鮮半島だとかでストライキにたち上がっている労働者の上に爆弾を落とすのがこれから始まる戦争なん



東北大学生自治会委員長・石田真弓君



京都大学熊野寮・高田暁典君

です。もしくは、沖縄の反基地闘争がドンドン高揚していますけれども、これを全部血の海に沈めて、新しい基地をつくる。もしくは三里塚闘争。成田空港をいま軍事的につくろうとしているんですよ。農民の畑を機動隊が無理矢理奪って。もしくは日本の学生だとか、労働組合の闘いをつぶして戦争動員していく。いま動労千葉がストライキをやっているんですが、これをたたきつぶして、労働者とか学生の意志を踏みにじる戦争なんです。最後にいえば、法大闘争をつぶして、ペンを銃に持ち替えさせて戦場に送る。僕らはこんな戦争許していいのかということと同時に、逆に、僕らの態度と行動でこんな戦争を止めることができる。だから、僕らはやっている闘いをガンガン広げる。「城内平和」、ストライキとかデモはやめて、一緒に戦争のために身を尽くしてくださいということが始まる。だけどそうじゃない。「城内平和」なんかぶっとばせ、今やっている闘いをますますガンガンやろうぜ、これが僕らの戦争を止める立場なんだということです。

### 【3】菅政権の内閣改造に対する構え

菅改造内閣が発足しました。現実的に何がおこっているのかと言え、朝鮮半島で米軍が戦争するための出撃基地は日本なんです。沖縄と日本列島の米軍基地から出撃するんです。菅政権がこの戦争に参戦するのかわろは、アメリカにとって第一級の課題になっている。僕らはこれを阻止する。きわめて具体的なんです、戦争を阻止する道というのは。菅は昨年未から防衛大綱を見直して、自衛隊の位置づけを180度変えて「静から動へ」と。さらに「中国軍のせん滅」を掲げて、尖閣奪還作戦という軍事演習をやったりしているわけで、明確な踏み出しがあります。そういう中で菅改造内閣は「平成の開国」を打ち出しました。彼らが言っていることは、TPPと消費税と安保・沖縄問題です。TPPというのは非常に重要な問題です。去年までは鳩山政権がいて「東アジア共同体」なんて言っていたわけです。つまり東アジアからアメリカを排除して、日本の市場で円経済圏をつくらうと。けどもう一切言わなくなりました。それど

ころかその先頭にいた小沢を今全力で叩きつぶそうと。

そうじゃなくて、TPPでアメリカの土俵でなんとかやっていくしかないということを彼ら転換した。日本独自でやるなんて無理。円なんて強い通貨じゃないし、軍事力もない。そういう中で日米安保に徹底的に依拠して、日本を軍事化して、やっていくしかない。

4月菅が訪米して新安保宣言というのを打ち出そうとしています。これはもう戦争参戦宣言です。アメリカと一緒に朝鮮戦争やります、沖縄に新しい基地をつくりますって宣言をするために行く。だから4月に向かってこれから沖縄の怒りは爆発していくわけです。

もしくは、三里塚軍事空港の建設も重大な攻防に入っています。そしてもう一ついえば、菅政権がやろうとしていることは、労働運動をつぶそうとしているということです。

### 【4】動労千葉を先頭とした反撃の開始

(1) 「俺はこんな会社に負けない」 青年の決起略

(2) 動労千葉の闘いの意味略

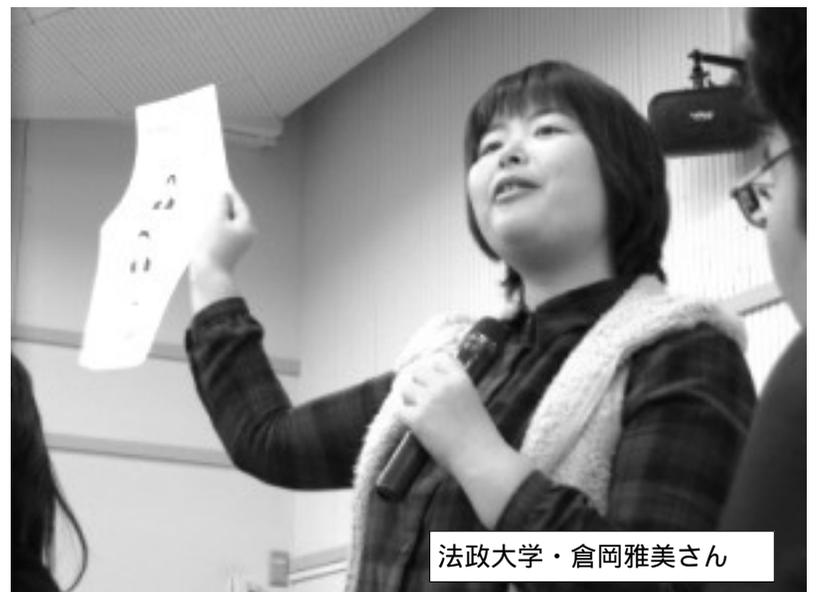
(3) 戦争と密接に労働運動の前進を切り開いてきた歴史略

### 【5】法大闘争の大爆発へ

(0) 戦争が始まった今こそ法大闘争を全社会に訴えたい

最後に法大闘争について。

じつは今回の3・20に法大のスローガンを一つ入れてやりたいというふうに考えていることの問題意識です。僕らは戦争が始まった今こそ法大闘争を全社会に訴えよ



法政大学・倉岡雅美さん



三里塚現地行動隊より

うと、ということで今回の3・20を位置づけようと思っています。

### (1) 法大闘争とは

僕ら教育の民営化、教育が金儲けになっているじゃないかとずっと一貫していつてきたんですけども、これが戦争と密接と関わっているということをつかみ取ってきたのが、この5年間の闘いだ。アメリカの学生からのメッセージ、「現在の教育予算の削減と米政府による戦争やその他軍事予算の浪費との間には露骨な結びつきがあります。国際学生運動の構築に向かって連帯しましょう！ 帝国主義戦争にノーを！」。アメリカの学生も本当に同じ思いです。教育の民営化と戦争という現実が世界の学生の国際連帯を広げています。これが法政大学の闘いの一面です。

### (2) 法大闘争だけが闘争になった

そしてもう一つ、法大闘争だけが「闘争」になったということです。国立大学法人化で、国公立大と私立大の競争が激しくなる中で、私立大の学生運動つづしがガンガン始まる。だけど、法政大だけが唯一「闘争」になった。これこそが、この戦争情勢の中でこそ訴えられる闘争なんだと訴えたい。こうした攻撃を全部はね返して、文化連盟はついに組織拡大を開始しました。学生運動をつぶす攻撃に対し、組織拡大が始まったのは本当にすごいことです。

処分を阻止するという闘いが起きています。当局が倉岡さんの次の処分を出せないところまで来ている。5年間で初めての事態です。ついに僕たちはそこまで来たんだということです。

先日法大のセブンイレブンから学生がでてきて、「こんな大学今すぐ爆破したほうがいい」「もう怒りを爆発させなければいけない」「洞口さんとか齋藤君とか普通の学生なのに、ちょっと声をあげただけでこんなに弾圧されて絶対許せない」って。僕らがピラで書いている言葉で怒る。

どうせここまで来たのなら最後まで爆発させたい。もう少し、労働者や農民や市民のみなさんから支援をもらっ

て、本当にこの怒りを最後爆発させたい。

カギは法大生が本気になること。法大生が一生懸命支援を訴える。法大闘争の支援を訴えたからには自分たちも頑張るって、そういう3・20にしたい。そういう意味で法大闘争のスローガンを今回入れたい。

## 【7】国際連帯の内容と広がり両面での発展へ

### 【8】まとめ

まとめますと、3・20にかけている思いですが、新しい運動を3・20をもって開始したい。協賛組織が自分たちの意図を明らかにし、熱気をもって各集会をぶち抜いていく在り方に転換したい。今回3・20をもって、運動の在り方を本当に変えていきたい。だから法大も法大で、自分たち学生の利害を真っ正面から押し出して、熱気を持って訴えて、みんなを動かしていく。

一回一回の集会を主催する人たちが、必死になって問題意識だとか、総括軸だとか、意図をはっきりさせて熱気で全部突破したい。

二つ目はヒロシマ闘争を頂点とする反戦闘争の年の幕開け。三つ目には、4月からの学生の闘いを新たに展望するような闘いとしてやっていきたい。

## 齋藤郁真・文化連盟委員長

歴史上初めてとも言いませんが、法大闘争は闘



争になったんです。06年3月14日、29名の学生が全員逮捕される。法政大学の側が学外団体も含めて看板を出させない、ピラまきも自由にやらせないと言い出して、抗議のデモやると言ったら、当日何が起きたか。公安警察が200人いて全員逮捕される。これに対して、こんなのおかしいんだと、暴力に何度も負

けてきたわけだけども、負けないと今度は。そう思いながらずっと5年間闘ってきた。それが法大闘争です。

この5年間、いろんなことがありました。非常に厳しい時期もあったんですけども、今それがどこまで来たかって言えば、すべての学生の怒りをわれわれが体現しているっていう段階に入ったわけです。

06年3月14日以来。ものすごい弾圧につぐ弾圧で、のべ人数で118人が逮捕されて、33人が起訴されて、合計で13人処分されて。この状況は法大がきびしい、というだけではなくて、この動労千葉の話、三里塚の話、全部に共通しているわけです。今法政大学では、ちゃん

## 協賛団体の方々



8・15集会実行委員会・葉山岳夫さん



星野文昭さんを取り戻す会  
星野暁子さん



百万人署名運動・白崎順一さん



8・6  
8・9  
実行委員会  
三角忠さん

と冷静に頼めばきっと話を聞いてくれるはずだった人たちが07年からいたわけです。その人たちが最後どうなったかっていったら、学生と話をしたって学校側が正当性をつくるために使われちゃったわけです。今回の飲酒規制の話もそうです。半年間、学生は飲酒ルール検討会って自分たちで組織を立ち上げ、結構な学生を組織して、大学に対して交渉していたわけです。大学も半年間話し合いを続けた結果、最後に、話をしました、結果は飲酒全面禁止。しかも全面禁止じゃなくて、金を払えば良いよって。1万円以上なら良い、5万円以上なら即日。何のための規制だったのっていう。規制をやった理由は、学生が暴れるから、学生が酒飲んで騒ぐからっていうことを言っているわけです。全部学生のせいにする。

こういうことが今の社会にはびこっているわけです。法大がどういう状況かっていうと、総資産の3分の1がマネーゲーム。学費の3分の1がマネーゲームに使われている。それで学生に対して、お金がない人には奨学金貸しますよって言って奨学金貸して。学費が高いせいで奨学金を借りなくちゃいけないのに、それで学費を下げるんじゃなくて、利子取っちゃう。全部金儲けで動いて、教育が商業になっている、大学はこんなものじゃないんだって学生に対しては処分。これが全部の社会にあること。

戦争の話もそう。おれら関係ないじゃないか、尖閣諸島とか釣魚台、ここが石油がある、石油がほしい。この石油を取り合っている。小泉政権10年間で、金融がひたすら伸びていた時期ありましたよね。その時期に起きたことってというのは非正規雇用が1000万人に増えた。今の状況も、学生の内定率68.8%だと過去最低だと。その一方でリーマンショック前の水準を上場企業は回復した。失業率も回復していない、むしろ悪化している。さらに生産性が上がっているわけじゃない。工場どんどんつぶして労働者をどんどん切っている。儲けを回復したってというのは学生を採用しない、労働者の首を切る、非正規に置きかえる、これでこいつらカネを作ったんで

す。

これに対して学生がおかしいんじゃないですかって言ったら、お前の能力がないせいだって。誰がその発端かということは何も言わない。大学に行けば行くほど、文句を言うとかそのものを大学が封じている。だから大学に行けば行くほど、学生は元気がなくなる。次の社会に出て行くのは誰なのかを俺たちははっきりさせなくちゃいけない。

法政大学のさっきの話、こんな大学爆破した方が良くっていう学生たちの怒り。われわれは新しい運動を作らなくちゃいけない。しょうがないとかそういうあり方を全部ぶっとばす運動を作らなくちゃいけない。

戦争、大失業、全部金儲けのためにものが動いて、儲かんないから労働者の首が切られて、儲かんないから石油取りにだって、みんなお互いに何かけんかする気はないのに、これが国策なんだ、あいつらが攻めてこようとしているんだみたいな。その中国の労働者は日本の資本の強搾取に対してぶちぎれて闘っている。同じものに対して怒っている。なのに、そういう情報全部遮断して、今起きようとしていることは戦争だ。われわれは戦争の問題と、法大の倉岡処分問題、これは一体の問題として語りたい。

今の状況に対して全力でぶちぎれた倉岡さんのような学生が、法政大学に対して、職員に対して「うるせえよ」とか言って処分されないってなったらどうなるんですか。それやってもOKですよってなったらみんなぶちぎれるじゃねえか。処分阻止が他のすべての状況を変えるってことはそういうことです。この関係がいったんできたら終わりなんですよ。どんなに見えたって権力なんてちっちゃいんですよあんなの。俺らが全力で新たな運動作って、怒りを体現する存在として、この社会に堂々と現れる。この指止まれというやつがいれば、終わりなんだよ。勝つんですよわれわれは。そういう運動を作っていきたい。これが今回の3・20です。

だからわれわれは、倉岡処分阻止と戦争反対、大失業・戦争に立ち向かう運動を一体のものとしてやりたい。ぜひ皆さん、われわれが実は多数者だ、われわれ学生が未来を背負っているんだということを自覚して、全力で作っていききたいというふうに思います。ありがとうございました。



# 【2】1・28 動労千葉総決起集会報告

## 指名ストで闘う北嶋琢磨さん



去年の滝さんに引き続きの強制配転です。俺に対する事前通知もまた強行的に行われました。17日の団交の最後には、団交決裂ということで19日の指名スト突入を通告しました。その時から、庁舎の中でコソコソやっていたのだと思うが、18日19時半、仕事終わって帰るところへ現場長が来

ました。「事務から預かり物がある」。まずそれが最初だったんです。「じゃあ行きます」っていったら、「他に事前通知もあるから」。「じゃあ行かないよ」と言ったんですよね。これは受け取るわけにはいかないから。その問答を何度かやって、とりあえずこれは行くしかないとなった。事務からの預かり物は確かに頂きました。そして、「事前通知読むから」。読むというから聞かれない。聞いて、聞き終わったとたん、何の説明もなしに「これ読んだからもう効力が発生しているから、受け取ってくれ」って言われました。普通だと、「これ読んだら効力発生するよ」って言って渡すはずなんですけど、読み上げた後にそんなこと言いはじめた。本当にそのときから頭の中ゴチャゴチャしちゃって、怒りしかわいてこない状態でした。でも、皆さんに支えられて、平然と、平静を保っていられるというのもありがたいことだと思っています。

俺だけの闘いじゃないです。外注化、新小岩基地廃止、人事賃金改悪。いろんなことで動労千葉を潰そうとしている当局に闘っている労働者の顔を見せてやりましょう。今、庁舎の中でニヤニヤ笑っているようなやつらに俺たちの闘う姿を見せてやりましょう。

## 動労千葉・田中委員長

19日から始まった指名ストライキと、1日 2日の運転士・駅に配点された仲間たちのストライキを、僕らは「春闘第一波ストライキ」と位置づけました。まず、何よりも今日は、この闘争への総決起を訴えたいと思います。

## ライフサイクルについて

そもそも、ライフサイクルのことを考えてほしいと思います。運転士を会社の好き勝手に駅にたらい回しにするってことが、どうしてこんなことが始まったんですか。

こんなことは労働組合が飲まなかったら、始まらなかったことです。東労組が飲んだから始まったことなんですよ。物事は単純なんですよ。駅の輸送職を当局は全く養成しなかった。運転士のたらい回しで乗り切っちゃまえということです。駅の業務に一番精通しているのは駅の労働者だよ。それが輸送職をやるのが一番運転保安上もいいにきまっているじゃないですか。この一言を言わない労働組合って一体何なのかってところから全ては始まったって事ですよ。つまり、そのもっと裏には、今当局が駅の労働者を全部契約社員に置き換えちゃうってことをやっている。これを労働組合がグルになって進めているから、全部契約社員にしちゃうから輸送職が養成できない、だから運転士をたらい回しにしてしまえ。こういうことがあるんです。

別にこの問題は難しい話じゃなくて、労働組合の本当に腐りきった姿を示しているってことです。じゃあ、その駅の契約社員はどんな扱いをされるのか。5年で首ですよ。こうやって労働組合と会社がグルになって労働者を突き落としている。そのつけに運転士をたらい回しにする。要するに、全てがこういう腐りきった関係の中で出てきているって事ですよ。だけど、鉄道動かしているのも、安全を守っているのも、全部労働者じゃないですか。本当は、労働者は自分の仕事に誇りを持って、誇り高く労働組合に団結して、間違っていることには間違っている、こうやってやるのが当たり前姿でしょう。労働組合が失われた結果が今です。だけど、その中で北嶋君はたった一人でストライキに立ち上がっている。どっちの道を選ぶのか。彼や千葉運転区の仲間のメールには、「北嶋さん、こうやってがんばってる気持ちを僕は良く分かるんだ。でも、まだ自分は踏み切って動労千葉に一緒に闘うってことが出来なくて」ってメールがいっぱい来てますよ。職場に明らかに変化がおきている。今回の闘争は、この職場の変化を作り出すってところに一番の眼目がある闘いだというふうに考えています。ここで労働組合を変えることができれば、こんなことは全部終わるって事ですよ。





### 新小岩派出所廃止問題

それと、二番目の問題です。新小岩の僕らの拠点職場を廃止しようってことです。

そもそも考えて欲しい。職場を廃止するのは、3月12日のことですよ。3月12日ってことは、2月25日には翌月の勤務確定なんですよ。2月25日にはもう職場がなくなった前提で、翌日お前はどこに行けて勤務を発表するんでしょう。一ヶ月もないんですよ。職場をそっくりなくすっていうのに、こんなやり方あるんですか。つまり、反対させない。そのために、実際は全部準備を進めておいて、労働組合には提案しない。これは、当局と貨物労組がつるんでやっていることですよ。動労千葉の拠点だもん。

2月20日に新小岩職場の周りを人の波で埋め尽くすような、廃止絶対反対の大集会をやるっていうことを決めました。自分の働く職場を奪われて黙ってるような労働者はいないんだってね。この闘いにも今日を期して僕らは立ち上がりたと思います。

### 新賃金制度

賃金制度の抜本的な改悪がはじまっています。今度JR東日本が提案した賃金制度っていうのは、はっきりいってめちゃくちゃです。おそらくこれがこれからの労働者支配の基本になるんでしょう。つまり、賃金の客観的な基準らしきものを全部なくすってことです。高卒、大卒の初任給だけ決まっている。そのあとは全部さじ加減で賃金が決まる。団結を破壊するために賃金を道具として使う。

それともう一つ。どう見てもその賃金制度は、現場の業務は基本的にほとんどJR本体には残さないという前提の制度だね。つまり、全面外注化です。管理部門しか残らないから、後はさじ加減でいいじゃないか。これが基本的な思想だよ。だから、この提案をもって、僕は外注化阻止闘争も本当に正念場に入ったと考えています。この4月が正念場だと思います。2月1日の京葉外注化は去年の12月3日、4日のストライキで止めました。当局としては、東労組を手先にして外注化して突破口があげば後はこっちのもんだったってね。だけど、こちらは闘いに立ち上がった。その過程で、京葉からも僕らに結集してくれる仲間がでた。これでもしやっちゃったら、大変なことになる。次は、勝負は4月だよ。去年の4月、外注化を動労千葉の300何十名かの小さな力で東日本全体の外注化を止めました。今年、もう一回止められるかどうかです。去年の暮れから、外注会社にいつている仲間とも一緒にストをしました。今度の闘争は正念場だと。

JR本体からストライキで立ち上がるだけでなく、外注会社側でもストライキを打つ。双方からうって、絶対これを止めよう。そういう構えにしています。

### 1047名問題

私は、去年の1047名の解雇問題が旗を降ろしてしまっただけで、これにどう立ち向かうか考えてきました。

社会保険庁のやり方をもう一回見直しました。それで分かったことは、労働者に対する攻撃の全てが、国鉄分割・民営化から24年間回り巡って、結局敵の側は全部国鉄分割・民営化方式だということです。どうやって社会保険庁解体・民営化して労働者の首を切るのかっていう審議会の議論があります。その議論の全ては「これは国鉄分割・民営化と全く同じスキームでやるから、不当労働行為にはあたらないんだ。分限免職も大丈夫なんだ」。こういう議論に満ちています。このやり方なんだよね。

しかももう一つ僕は驚いたことがある。それは何かって言うと、社会保険庁を解体して日本年金機構っていう民営化された新しいものを発足させたわけですよ。今回は、日本年金機構の設立委員会が作られる。ここに、今度の社会保険庁の場合、連合の現会長、当時事務局長が入った。労働組合の手で社会保険庁の首を切らせた。つまり、1047闘争には絶対にさせないために全力を尽くしたってことです。そのために、労働組合の手で労働者の首を切らせば絶対に1047名闘争化しない。もう一つは、自治労を使った。民営化が決まって、誰が不採用になり、つまり首になり、誰が採用になったか。これが決まった時点で労働組合は解散させてしまった。首を切られた労働者を全部排除して、年金機構労組を発足された。こうなったら、1047名闘争にならないじゃないですか。それが1月で、1047名闘争和解が4月で、日航の首切りが12月ですよ。この流れを見れば分かります。これから始まることは何百万って膨大な労働者に対する首切りですよ。こういうことを、何百万って公務員労働者にやるっていうね。だから1047名闘争をあそこでつぶした。

日本の労働者の現状を考えて欲しい。労働組合が腐ったときに何が起きるのか。その結果、全て崩壊したじゃないですか。社会保障、年金、教育も医療も全部ですよ。社会が崩れようとしている。本当に労働組合の犯罪だと僕は思います。

ここでこの攻撃に本当に立ち向かおうって僕は思っています。外注化で、何十万の、何百万の非正規労働者が生み出されるんですか。国鉄分割・民営化方式で、これから何百万の労働者が首切られるんですか。こういうこ



とに本当に立ち向かいたい。労働組合が甦んなきゃいけない。今、闘っている闘いってというのは、北島君一人の闘いです。だけど、一人の熱い思いの中に労働組合って何なのか。このことが一番の核心問題としてあるんだと。だけど、この一年間は去年立ち上げた国鉄闘争の新しい運動を中心にしながら、本当にどこにでも飛んで行って全国の仲間たちに訴えて、とにかく全国のあらゆる地域と職場に、やっぱり「一から闘いをはじめよう。こんなことはもうこりごりだ」と訴えたい。

このまま行ったら、労働者に対する攻撃だけじゃなく戦争に行き着くよ。でも労働組合がしっかりしていたら、こんなことは粉碎できる。そういうこともこめて、僕らは今日この集会を出発点にして、2月1日、2日の春闘第一波ストライキをはじめ、この1月から3月、全力で闘いたいと考えています。

### 勝浦市長選

勝浦では今、動労千葉のジェット燃料輸送阻止闘争の解雇者でもある水野さんを市長に押し立てて闘っています。動労千葉のような300数十名の労働組合が市長を

押し立てて闘うなんて、こんなのは今までの常識からいったら有り得ないことです。何でこうなったのか。簡単に言えば、怒りの声と結びついたときに、水野さんしかいないんじゃないかとなった。つまり、正しい路線があり、ちゃんと労働者の怒りの声、農民の怒りの声、漁民の怒りの声と結びつく力を僕らが持っていれば、自民党だって真っ向渡り合える。こんなことはこれまでの時代だったらないこと。今、始まったんですよ。動労千葉の解雇者が市長になる。これは情勢を揺るがすと思う。僕は田舎の一事件に終わらないと思う。

僕はやらなきゃいけないことは二つだと思います。1月から3月の決戦を闘いぬく。その過程で、絶対に組織拡大の展望を掴み取るってこと。それと、勝浦の市長選に決起するっていうこと。もう全てやらなくちゃいけないのだったぶん現場からは悲鳴が上がると思うんだよね。だけど、無茶すぎると思えることを一定思えることをやりきったときにはさ、展望が出てくる。そのことを最後に訴えて、私の提起にかえさせていただきます。ありがとうございました。

## 【3】2・1情宣禁止仮処分粉碎闘争へ！

### 「情宣禁止仮処分」を弾劾する！

(3・14 法大弾圧を許さない法大生の会より転載)

倉岡さんへの不当処分を狙う法大当局がまたしても大暴挙に手を染めた！

2月の入試において法大の半径200メートル以内で「ピラをまく」「演説をする」あるいは「徘徊・滞留」すら禁止し、違反したら罰金100万円という「情宣禁止仮処分」を昨年引き続き今年も裁判所に申し立ててきたのだ。(ちなみに当局の側の弁護士は元汚職警官・芝昭彦だ)

絶対に許せない！

学生から政治を奪う法大当局を仮処分もろともぶっ飛ばそう！

そもそも昨年2月、法大当局は「情宣禁止仮処分」を強行しておきながら、申し立てられていない洞口さんら6人の学生がピラまきを行ったことに対して「通行妨害」だとでっち上げて国家権力に不当逮捕させたではないか！

結局、裁判所の決定すら踏み越えて弾圧を行っているのが法大当局と国家権力だ。「情宣禁止仮処分」などそもそも破産しているということに他ならない！

一方で法大当局は追いつめに追いつめられている。

倉岡さんへの処分理由を何とかでっち上げようと「授業準備妨害」なる看板まで持ち出すも学生の怒りに追いつめられて結局破産し、倉岡さんが4月からキャンパスに戻る展望が圧倒的に生まれている。

法大当局はたった一人の決起に心底恐怖しているのだからこそ無茶苦茶な弾圧を仕掛けてきているのである。危機はむしろ法大当局の側なのだ。

だからこそ学生一人の行動が決定的だ！

倉岡さんへの不当処分、全面禁酒、仮処分、こうしたものを吹き飛ばす学生の大運動を開始しよう！

2月1日の14時から、この「情宣禁止仮処分」の審尋が東京地裁にて行われます。

私たちは不当な決定を下そうとする裁判所に対して当日の11:30から大情宣をやります。

法大生の皆さんと全ての闘う仲間のみなさんへ結集を呼びかけます！

「情宣禁止」ぶっ飛ばし、倉岡さんへの処分を阻止して法大闘争に勝利しよう！！

2月1日(火) 11時半 東京地裁前ピラまき









